



公益財団法人

電気通信普及財団

The Telecommunications Advancement Foundation

電気通信普及財団レポート2021



CONTENTS

電気通信普及財団レポート 2021

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1. 理事長からのご挨拶 | 4 |
| 2. 助成・援助活動 | 5 |
| 1 研究調査助成 | 5 |
| 2 海外研究・特別講義開設援助 | 10 |
| (1) 特別講義開設援助 | 11 |
| (2) 長期海外研究援助 | 11 |
| (3) 海外渡航旅費援助 | 11 |
| 3 普及・利用促進活動援助 | 12 |
| (1) シンポジウム・セミナー等開催援助 | 12 |
| (2) 学術研究出版助成 | 14 |
| (3) 国際交流人材育成援助 | 15 |
| (4) ネット社会課題対応援助 | 15 |
| 3. 表彰事業 | 16 |
| 電気通信普及財団賞の概要 | |
| 第36回電気通信普及財団賞 受賞著書・論文 | |
| ・テレコム社会科学賞 | |
| ・テレコムシステム技術賞 | |
| ・テレコム社会科学学生賞 | |
| ・テレコムシステム技術学生賞 | |
| 第36回 電気通信普及財団賞贈呈式 / 2020年度 助成援助金贈呈式 | 23 |
| 4. これまでの活動実績 | 28 |
| 5. 決算報告 | 30 |
| (1) 貸借対照表 | |
| (2) 正味財産増減計算書 | |
| 6. 2021年度 役員、評議員及び審査委員名簿 | 32 |
| 理事・監事・評議員・審査委員 | |

1. 理事長からのご挨拶

公益財団法人 電気通信普及財団 理事長 武内 信博



日頃より私ども電気通信普及財団の活動をご理解、ご支援いただいている皆様深く感謝申し上げます。当財団は1984年9月に電電公社（現NTT）からの出捐を受け、郵政大臣の許可を受けて設立されました。2013年4月には内閣総理大臣の認定を受け公益財団法人に移行しております。

設立以来36年にわたって公募による助成援助及び表彰事業を行い、2020年度末までに電気通信普及財団賞は800件、約2.4億円の賞金を贈呈し、研究調査助成及び援助事業は8923件で、約87.2億円の助成・援助金を贈呈してまいりました。

2020年度には、新たに学術研究出版助成を開始いたしました。開始初年度でございましたが、7件の申込があり、4件を採択し、意義深い出版の助成をできることになりました。

表彰事業につきましては、2020年度には賞金を2倍に増額いたしました。また、勸奨策により180件と史上最多のご応募をいただき、前回の17件からは大幅に増加し、25件に贈呈させていただきました。

公募による助成援助事業全体では、2020年度においては116件、1.6億円を採択いたしました。

財団の助成金を有効に活用していただき、その成果がICTを活用する社会と経済の健全な発展に寄与することを期待しております。

助成援助、電気通信普及財団賞の選考に当たりましては審査委員長はじめ各審査委員、表彰専門部会委員の皆様の多大なご尽力を賜りましたことに、改めて御礼申し上げます。

情報通信、ICTは、社会経済の効率化からIoT、ビッグデータを活用した社会的課題の解決や価値の創造への寄与へと、今後の社会、経済の発展に欠くことのできない存在となっています。今般の新型コロナ禍もたらした緊急事態という未曾有の状況において、人々の移動と対面的コミュニケーションが著しく制限されざるを得ない中、情報通信はテレワークなどにより経済社会活動を支え、社会全体の課題の把握と解決策に情報通信が果たす役割は大きく、重要なことが示されました。

当財団は、公益財団としての使命を果たし、これまでのICT分野における優れた研究に対する表彰、研究調査助成、各種援助などの活動をさらに推進させていくことはもとより、今後のICTの進展が社会経済にもたらす様々な変化に対応し、微力ながら我が国社会経済の健全な発展により一層寄与していきたいと思っております。

今後とも、私ども公益財団法人電気通信普及財団の活動に対しまして皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

2021年7月

2. 助成・援助活動

1 研究調査助成

(概要)

2020年度募集の研究調査助成については、申込件数は128件、申込額は約2億7251万円の新規助成申込があった。

審査委員会による審査を経て、新規申込のうち56件、1億176万円が助成案件として採択された。内訳は、人文学・社会科学分野では、18件、2586万円、技術分野では、27件、547万円、両分野にわたる研究では、11件、2179万円となっている。

また、2019年度採択の継続分として、26件、2807万円の助成が認められ、通常枠全体では、82件、1億2983万円が2020年度の助成案件として採択された。

申込件数は前年の前年度のほぼ半数であったが、採択率は上昇した。コロナ禍による苦境の中でも、研究を進めようとする質の高い意欲的な申込があった。

採択された調査研究のテーマは多岐にわたるが、今後求められる次世代通信システムを支える要素技術の研究、ソーシャルメディアが社会システムに及ぼす影響や、情報通信手段を医療や教育に役立て、応用するための研究などが数多く含まれている。

人文学・社会科学分野

〈敬称略〉

合計 24件 32,050千円

| 所属・氏名 | 調査研究テーマ | 助成金額 (千円) |
|---|---|--------------|
| 成城大学 法学部 教授 指宿 信 | 越境的捜査活動に対する法的規律をめぐる総合的研究 | 1,350 |
| 早稲田大学 政治経済学術院 准教授 上田 路子 | チャット悩み相談に寄せられた相談内容の深刻度判定とその成果の相談事業への応用 | 2,780 |
| 早稲田大学 大学院法務研究科 教授 上野 達弘 | インターネット上の著作権侵害とプラットフォームの責任に関する調査研究(延長) | 1,400 |
| 岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 臨床遺伝子医療学分野 大学院生 浦川 優作 | ICTを用いた複数医療機関によるオンライン遺伝診療ネットワークモデルの開発 | 1,900 |
| 京都大学 大学院地球環境学堂 准教授 鬼塚 健一郎 | サイバー空間を活用した次世代農村計画手法の研究開発 | 1,140 |
| 大阪市立大学 大学院経済学研究科 教授 金子 勝規 | タイの新型コロナウイルス感染症対策下の遠隔教育と教育格差に関する調査研究 | 1,500 |
| 佐賀大学 経済学部 教授 亀山 嘉大 | テレワークによる生産性向上と運用上の課題—九州のOffice Work企業・団体の調査と分析から— | 1,500 |

| 所属・氏名 | 調査研究テーマ | 助成金額 (千円) |
|--|--|--------------|
| 同志社大学 法学部 教授 川和 功子 | EUと日本におけるデジタル・コンテンツ及びデジタル・サービス供給契約法制の比較と課題 | 1,400 |
| 山形大学 人文社会科学部 准教授 小林 正法 | オンライン心理学実験・調査環境の構築と検証：本邦での普及を目指して | 750 |
| 聖学院大学 基礎総合教育部 准教授 塩崎 亮 | ソーシャルメディアのアーカイブ化に対する“国民の意識” | 1,250 |
| お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科 博士後期課程1年 白鳥 翔子 | 20世紀初頭における中国の電信事業と地方隆盛—雲南省を例に— | 550 |
| 筑波大学 人間系 助教 菅原 大地 | テラーメイド復職支援アプリケーションの開発と効果検証 | 1,100 |
| 東京工業大学 工学院 経営工学系 特任准教授 藤 祐司 | ソフト革新資源の内生化：ICTリーダーのネオオープンイノベーションの比較実証分析 | 2,500 |
| 立命館大学 総合心理学部 准教授 寶 雪 | ネガティブ感情が偽情報の認知に与える影響について | 800 |
| 新潟大学 人文社会科学系 教授 中村 隆志 | モバイルニュースにおける配信の課題とユーザの受容調査 | 780 |
| 東洋大学 法学部法律学科 専任講師 根岸 謙 | 分散型台帳任意後見システム構築上の法学および情報通信学的問題の検討と実装への試み | 1,210 |
| 鳥根大学 法文学部 教授 野田 哲夫 | 地方におけるシェアリングエコノミー政策の展開と課題に関する事例調査研究 | 1,100 |
| 名古屋大学 アジア共創教育研究機構 教授 林 秀弥 | ICTを活用したコミュニティ防災と防災法制に関する研究—台風19号等を踏まえて— | 400 |
| 小樽商科大学 商学部経済学科 教授 松本 朋哉 | コロナ渦の途上国貧困層の暮しと復興過程：モバイルマネーを通じた家族の繋がりの検証 | 2,980 |
| 信州大学 人文学部 社会心理学分野 准教授 松本 昇 | 精神疾患の心理メカニズムを特定するオンラインアセスメントツールの開発 | 1,000 |
| 大阪大学 大学院人間科学研究科 教授 三浦 麻子 | 「オンライン脱抑制」再考：心理尺度作成とメカニズムの検証 | 1,250 |
| 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員（主任） 村山 陽 | 単身中高年者の社会的孤立予防に向けた世代間オンラインコミュニケーションの検討 | 1,350 |
| 九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター 講師 横田 文彦 | アジア高齢化社会に必要な遠隔予防医療サービスの効果検証研究 | 900 |
| 早稲田大学 社会科学総合学術院 先端社会科学研究所 助教 渡部 春佳 | 地方議会議事録の統合と利活用に関する社会情報学的研究 | 1,160 |

技術分野

〈敬称略〉

合計 41 件 69,590 千円

| 所属・氏名 | 調査研究テーマ | 助成金額 (千円) |
|--|---|--------------|
| 和歌山大学 システム工学部・知能情報学メジャー 教授 天野 敏之 | 反応拡散方程式に基づくプロジェクタカメラ系の解析を用いた光学特性の可視化 | 2,520 |
| 京都大学 大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻 助教 有川 敬 | テラヘルツオシロスコープ技術の開拓 | 2,940 |
| 宮崎大学 工学部 准教授 李 根浩 | センサネットワーク技術を用いた放牧中の牛群における群行動の観察手法への創出 | 1,970 |
| 大阪大学 大学院基礎工学研究科 准教授 池田 聖 | シーンの三次元形状と固視位置の整合に基づく視線検出器の自動較正 | 1,020 |
| 秋田工業高等専門学校 創造システム工学科 電気・電子・情報系 教授 伊藤 桂一 | 河川の水位観測用高精度ミリ波センサの開発と防災への応用に関する研究 | 700 |
| 近畿大学 理工学部・応用化学科 准教授 今井 喜胤 | 高度暗号通信システムを指向した次世代円偏光発光子-発生デバイスの開発 | 3,000 |
| 大阪府立大学 大学院工学研究科 助教 内海 ゆづ子 | ブドウ栽培従事者育成支援システムの開発 | 1,500 |
| 茨城大学 工学部 助教 王 瀟岩 | 災害用AIを用いたインテリジェントICTユニットの研究開発 | 1,500 |
| 東京大学 大学院工学系研究科電気系工学専攻 助教 大西 亘 | 機械学習とシステム同定の橋渡しによる繰り返し学習制御の新展開 | 3,000 |
| 早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 准教授 碓塚 孝明 | シリコン基板上集積光源における光反射制御の研究 | 1,300 |
| 長野工業高等専門学校 電気電子工学科 准教授 春日 貴志 | 40Gbps超の信号伝送を支えるコネクタの接触性能要件の解明のためのコネクタモデル解析 | 3,080 |
| 電気通信大学 基盤理工学専攻 特任助教 加藤 峰士 | 高精度瞬時3次元形状計測のための FPGA 制御による全光ヒルベルト変換手法の開発 | 1,500 |
| 北海道大学 農学研究院連携研究部門 准教授 加藤 知道 | 人工衛星データを利用した我が国の森林炭素蓄積量を推定するための機械学習モデル開発 | 600 |
| 福知山公立大学 情報学部 講師 河合 宏紀 | 絹織物の3Dアニメーションデジタルアーカイブと感性検索システムの開発 | 1,400 |
| 埼玉大学 理工学研究科 助教 菅野 円隆 | レーザを用いたリザーバコンピューティングの多機能化と高性能化 | 1,000 |
| 高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 准教授 木村 竜士 | 園芸施設における環境計測装置と連携する移動式ディフューザによる局所環境制御の検証 | 3,000 |

| 所属・氏名 | 調査研究テーマ | 助成金額 (千円) |
|--|--|--------------|
| 徳島大学 ポストLEDフォトンクス研究所 准教授 久世 直也 | マイクロ光周波数コムを用いた超低位相雑音THz発生に関する研究 | 2,000 |
| 北見工業大学 工学部・地域未来デザイン工学科 教授 黒河 賢二 | 汎用光伝送路におけるファイバヒューズの発生及び伝搬の抑圧 | 2,800 |
| 岡山大学 自然科学研究科 助教 侯 亜飛 | 位置情報を用いた漏洩同軸ケーブルスロットの開閉による空間変調の容量拡大の研究 | 1,200 |
| 長崎大学 情報データ科学部 教授 小林 透 | 公衆機器に近づくだけでスマホが操作画面に早変わりする非接触UI技術カメレオン | 1,260 |
| 室蘭工業大学 大学院工学研究科 助教 小林 洋介 | スパースモデリングによる大雨災害時のダム流入量予測モデル | 1,000 |
| 東京都立大学 大学院システムデザイン研究科・電子情報システム工学域 准教授 酒井 和哉 | ヘテロジニアスIoTシステムにおける暗号プロトコルに関する研究 | 1,700 |
| 九州大学 大学院 システム情報科学研究院 電気システム工学部門 准教授 笹山 瑛由 | 経鼻胃管先端位置の磁気的リアルタイム遠隔モニタリングシステムの開発 | 1,000 |
| 九州工業大学 情報科学センター 助教 佐藤 彰洋 | パケットの特徴に基づく脆弱性検査の自動解析に関する研究調査 | 1,200 |
| 富山県立大学 工学部 知能ロボット工学科 講師 佐保 賢志 | 電波センシングを用いた動作に基づく個人特定技術 | 900 |
| 東京工業大学 情報理工学院 情報工学系 准教授 下坂 正倫 | Wi-Fi電波を用いたデバイスフリー屋内測位 | 2,750 |
| 北見工業大学 工学科・情報通信系 助教 SHAO XUN | IoTの多様なニーズに応えるためのエッジクラウドオーケストレーションに関する研究 | 1,250 |
| 長岡技術科学大学 産学融合トップランナー養成センター 産学融合特任講師 庄司 観 | 生物の機械化によるバイオセンサネットワークの創製 | 3,000 |
| 東京理科大学 工学部情報工学科 助教 菅 宣理 | ランク最小化に基づく行列補間による電波伝搬シミュレーションの高速化 | 1,840 |
| 名古屋工業大学 大学院工学研究科 准教授 田中 雅章 | 強磁性絶縁体薄膜のトンネル電子を利用した半導体へのスピン注入の研究 | 1,080 |
| 東京工業大学 工学院・電気電子系 准教授 タン ザカン | ミリ波搭載ドローン基地局群による臨時型超高速・低遅延通信網の構築に関する研究調査 | 1,000 |
| 岡山大学 自然科学研究科 教授 田野 哲 | 過負荷MIMO無線通信システムのための線形受信機の研究 | 780 |
| 千葉工業大学 工学部 情報通信システム工学科 教授 枚田 明彦 | 異種メタサーフェスの電磁結合によるテラヘルツ波透過制御とシートLAN通信への応用 | 1,840 |
| マクマスター大学 電気・コンピューター工学科 ポスドク研究員 PHAM VAN THANH | 可視光通信における物理層セキュリティの基本的な分析 | 600 |

| 所属・氏名 | 調査研究テーマ | 助成金額 (千円) |
|--|---|--------------|
| 東京工業大学 工学院・機械系 博士課程2年 彭 祖癸 | 革新的なブレインマシンインターフェスの創出に向けた細胞内刺激電極の研究開発 | 1,500 |
| 早稲田大学 基幹理工学部 情報通信 学科 教授 前原 文明 | OAM多重伝送の次世代移動通信システムへの適用性に関する研究 | 750 |
| 大阪大学 大学院工学研究科 電気電 子情報通信工学専攻 准教授 三科 健 | 超低遅延光通信ネットワークのための光集積型全光変調フォー マット変換に関する研究 | 3,000 |
| 長崎大学 情報データ科学部 准教授 宮島 洋文 | セキュアマルチパーティ計算を用いたエッジシステムに対する機械 学習法の開発 | 920 |
| 慶應義塾大学 理工学部物理情報工学 科 准教授 門内 靖明 | 偶奇選択的結合モード発振に基づくサブテラヘルツビームスイッ チング | 3,000 |
| 電気通信大学 大学院情報理工学研究 科 助教 八巻 隼人 | パケット処理キャッシュにおける応答予測キャッシュの最適化 | 1,100 |
| 福井大学 医学系部門・産科婦人科学 教授 吉田 好雄 | AIを用いた胎児と母親の機能を遠隔評価する支援システムの開発 | 2,090 |

人文学・社会科学、技術の両分野にわたる研究

〈敬称略〉

合計 17件 28,190千円

| 所属・氏名 | 調査研究テーマ | 助成金額 (千円) |
|---|---|--------------|
| 長崎県立大学 情報システム学部情報 セキュリティ学科 教授 穴田 啓晃 | 匿名性・追跡可能性・説明責任性を両立するデジタル署名とブラ イバシ保護の枠組の設計 | 1,160 |
| 立命館大学 情報理工学部 准教授 泉 朋子 | インターネット上のデジタルデータを用いた思い出想起とデータ化 に関する研究 | 900 |
| 筑波大学 図書館情報メディア系 教授 井上 智雄 | テレワークのエンゲージメントを向上するインタラクティブピープ ルアナリティクス (延長) | 1,500 |
| (国研) 産業技術総合研究所 人間拡 張研究センター 研究員 大槻 麻衣 | 1対多の遠隔指示における指示者支援技術—作業効率に影響す る要因の探索 | 2,400 |
| 日本大学 生産工学部マネジメント工学 科 助教 大前 佑斗 | データサイエンスによる COVID-19感染者数の最小化を実現する ICT機能の発見 | 1,350 |
| 大阪工業大学 情報科学部 ネット ワークデザイン学科 特任准教授 榎原 茂 | ICT・IoT・AI技術による渡蟹養殖技術確立へ向けた実践的研究 | 1,000 |

| 所属・氏名 | 調査研究テーマ | 助成金額 (千円) |
|--|---|--------------|
| 豊田工業高等専門学校 情報工学科 教授 木村 勉 | 手話認識機能を搭載したオンライン手話辞書システムの開発と公開 | 3,000 |
| 専修大学 ネットワーク情報学部 准教授 小杉 尚子 | 認知症高齢者に対する遠隔音楽療法の効果評価臨床試験 | 1,500 |
| 埼玉医科大学 保健医療学部・臨床工 学科 教授 小林 直樹 | 偏光分光型マルチスペクトル映像カメラを用いた遠隔診療システムの検討 | 2,340 |
| 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 教授 佐々木 淳 | 災害時における避難所の混雑予想を可能とする避難行動モデルの研究 | 1,500 |
| 東北大学 大学院情報科学研究科 助教 立花 良 | バーチャルリアリティを用いたリアルタイム通信における社会的知覚認知の定量化 | 1,000 |
| 東京工業大学 工学院 助教 戸村 崇 | 自発的な水害対策を可能にする地球観測超小型衛星群の研究 | 3,000 |
| 群馬大学 医学部附属病院 先端医療 開発センター 研究員 中村 賢治 | 人型対話 AI を用いた地方自治体の窓口自動化システムとユニバーサルデザインの調査 | 2,280 |
| 千葉大学 大学院工学研究院 准教授 林 和宏 | スマートフォンとインターネットクラウドを活用した広域被災度判定システムの開発 | 1,000 |
| 長崎大学 大学院工学研究科 生産シ ステム工学専攻 電気情報工学コース 博士後期課程 深江 一輝 | ICT・AI 技術を用いた浮沈式生け簀向け自動給餌装置の研究 | 2,140 |
| 甲南女子大学 看護リハビリテーション 学部 看護学科 教授 松下 由美子 | テレコミュニケーション環境における共感成立過程の解明 | 1,000 |
| 高知工業高等専門学校 ソーシャルデ ザイン工学科 講師 横山 有太 | 視線追跡による内容理解度判断手法の開発～教科書が読めない学生の早期発見に向けて～ | 1,120 |

2 海外研究・特別講義開設援助

(1) 特別講義開設援助 [開講期間] 2021年4月～2022年3月

(概要)

2020年度募集の特別講義開設援助については、新規2件、申込額203万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、新規2件、203万円が援助案件として採択された。また、2019年度、2018年度採択案件の継続分として、2件84万円が認められ、全体では、4件、287万円が採択された。

2020年度 特別講義開設援助（2021年度開講）

[2021年4月1日～2022年3月31日の間に開講]

合計 4件 2,870千円

| 大学名 | 特別講義名 | 援助金額 (千円) |
|--------|---|--------------|
| 金沢学院大学 | 「ICTと進化するデジタル経済」(経済学部) | 1,100 |
| 東京電機大学 | Field Based Learning I、II | 930 |
| 敬和学園大学 | 専門家・実務家に学ぶ地域における情報メディアを活用したコンテンツ創出とそのプロデュース | 300 |
| 徳島大学 | ICTとイノベーション | 540 |

(2) 長期海外研究援助

(概要)

2020年度募集の長期海外研究援助については、新型コロナ禍の影響のため、申込がなかった。

(3) 海外渡航旅費援助

[渡航期間] 2020年5月～2021年4月

(概要)

2020年度募集の海外渡航旅費援助については、14件、申込額205万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、8件、約100万円が採択された。新型コロナ禍の影響のため、採択件数は昨年度の15%にとどまった。

2020年度 海外渡航旅費援助実績

[会議開催時期は2020年5月1日～2021年4月30日]

合計 8件 995千円

| 申込時期 | 援助件数 | 援助金額(千円) |
|------|------|----------|
| 4月期 | 5 | 771 |
| 6月期 | 0 | 0 |
| 8月期 | 0 | 0 |
| 10月期 | 3 | 224 |
| 12月期 | 0 | 0 |
| 2月期 | 0 | 0 |

3 普及・利用促進活動援助

(1) シンポジウム・セミナー等開催援助 [実施期間] 2020年10月～2022年3月

(概要)

2020年度のシンポジウム・セミナー等開催援助については、学術分野と社会貢献分野の合計で、25件、2385万円の援助申込があり、14件1270万円が採択された。新型コロナ禍の影響のため、採択件数は昨年度の60%にとどまった。

① シンポジウム・セミナー等開催援助（学術分野）

(概要)

シンポジウム・セミナー等開催援助（学術分野）については、2020年度5月期及び11月期に募集を行い、21件、申込額2030万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、12件、1150万円が採択された。

2020年度5月期 シンポジウム・セミナー等開催援助（学術分野）

〈敬称略〉

合計 5件 4,500千円

| 代表者氏名 | 会議等名称 | 援助金額 (千円) |
|--|--|--------------|
| ISIE2021 実行委員長 大石 潔 (長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻 / 科学イノベーション専攻・理事・副学長) | The 30th International Symposium on Industrial Electronics (略称：ISIE2021) | 1,000 |
| MIPR2021 実行委員会 委員長 柳井 啓司 (電気通信大学 情報理工学研究科 教授) | マルチメディア情報処理および検索に関する国際会議 IEEE International Conference on Multimedia Information Processing and Retrieval | 1,000 |
| IEEE TENCON2020 (IEEE アジア太平洋地域会議) 組織委員長 尾上 孝雄 (大阪大学・教授) | IEEE TENCON2020 (IEEE アジア太平洋地域会議) | 1,000 |
| 第60回日本生体医工学会大会 大会長 椎名 毅 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻・教授) | 第60回日本生体医工学会大会 | 1,000 |
| A-COE2021 組織委員会 委員長 森 竜雄 (愛知工業大学 工学部 教授) | The 13th Asian Conference on Organic Electronics (第13回有機エレクトロニクスに関するアジア国際会議) | 500 |

2020年度11月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 学術分野 〈敬称略〉

合計 7 件 7,000 千円

| 代表者氏名 | 会議等名称 | 援助金額 (千円) |
|---|--|--------------|
| IV21 組織委員会 General Chair 武田 一哉 (名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所・教授) | The 32nd IEEE Intelligent Vehicles Symposium (IV21) | 1,000 |
| 27th ACM Symposium on Virtual Reality Software and Technology (VRST 2021) 実行委員長 伊藤 雄一 (大阪大学・准教授) | 27th ACM Symposium on Virtual Reality Software and Technology (VRST 2021) | 1,000 |
| 情報理論ワークショップ実行委員会 共同実行委員長 和田山 正 (名古屋工業大学 大学院情報工学専攻 教授) | The 2021 IEEE Information Theory Workshop (2021年IEEE情報理論ワークショップ) | 1,000 |
| アジア環太平洋地域信号情報処理学会年次サミット2021 共同代表者 梶川 嘉延 (関西大学システム理工学部 教授) | アジア環太平洋地域信号情報処理学会年次サミット2021 Asia-Pacific Signal and Information Processing Association Annual Summit and Conference 2021 (APSIPA-ASC2021) | 1,000 |
| IEVC2021 実行委員長 内田 理 (東海大学・教授) | 第7回画像電子・ビジュアルコンピューティング国際会議 (IEVC2021) | 1,000 |
| EVTec 2021 実行委員長 藤本 博志 (東京大学 大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻・大学院工学系研究科電気系工学専攻 准教授) | 5th International Electric Vehicle Conference (EVTec 2021) | 1,000 |
| 第14回宇宙空間シミュレーション国際学校 (ISSS-14) 実行委員会 委員長 臼井 英之 (神戸大学 大学院システム情報学研究科 教授) | The 14th International School / Symposium for Space Simulations (ISSS-14) 第14回宇宙空間シミュレーション国際学校 | 1,000 |

② シンポジウム・セミナー等開催援助（社会貢献分野）

（概要）

シンポジウム・セミナー等開催援助（社会貢献分野）については、2020年度5月期及び11月期に募集を行った。新型コロナ禍の影響のため、5月期の申込はなかった。11月期に4件、申込額355万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、2件、120万円が採択された。

2020年度11月期 シンポジウム・セミナー等開催援助 社会貢献分野 〈敬称略〉

合計 2件 1,200千円

| 代表者氏名 | 会議等名称 | 援助金額 (千円) |
|---|---|--------------|
| NPO 青少年とインターネットについて考える会 NPO 法人ぐんま子どもセーフネット活動委員会 | コロナ禍における児玉郡の青少年のネット利用について考える | 400 |
| 情報通信技術研究交流会（AC・Net） 会長 三瓶 政一 （大阪大学大学院工学研究科 電気電子情報工学専攻 教授） | AC・Net 30周年記念 5G時代のデザイン経営の具現化に向けた産官学連携ワークショップ | 800 |

(2) 学術研究出版助成

（概要）

2020年度より、情報通信の発展に寄与するために行う、学術研究の成果を公表するための書籍に対する学術研究出版助成を開始した。

2020年度は7件、1084万円の助成申込があり、審査委員会による審査を経て、4件750万円が採択された。

2020年度 学術研究出版助成 〈敬称略〉

合計 4件 7,500千円

| 申込者 所属・役職・氏名 | 単著/ 共著 | 書名 | 助成額 (千円) |
|------------------------------|-----------|-----------------------------------|-------------|
| 早稲田大学 政治経済学術院 非常勤講師 樋口 喜昭 | 単著 | 日本における放送のローカリティ | 2,000 |
| 総務省情報通信政策研究所 特別研究員 武智 健二 | 単著 | 通信法制七〇年の歴史 | 2,000 |
| 国士舘大学 経営学部・経営学科 准教授 税所 哲郎 | 単著 | アジアの情報通信産業と産業クラスター | 1,500 |
| 慶應義塾大学 理工学部情報工学科 教授 山中 直明 | 共著 | ビヨンド5G が描く未来——2030年の日本で実現すべきこと（仮） | 2,000 |

(3) 国際交流人材育成援助 [援助期間] 2021年4月～2020年3月

(概要)

2020年度募集の国際交流人材育成援助については、継続1件、申込額100万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、継続1件、100万円が採択された。新型コロナ禍の影響のため、新規の申込はなかった。

2020年度 国際交流人材育成援助

〈敬称略〉

合計 1件 1,000千円

| 代表者氏名 | 事業名称 | 援助金額 (千円) |
|-------------------------------|--|--------------|
| 岡山大学 大学院自然科学研究科 研究科長 鶴田 健二 | ミャンマー・インドネシアにおける自習ツールを用いた実践的プログラミング教育の普及事業 | 1,000 |

(4) ネット社会課題対応援助

(概要)

2020年度募集のネット社会課題対応援助については、新規6件、申込額1172万円の援助申込があり、審査委員会による審査を経て、3件、580万円が採択された。

2020年度 ネット社会課題対応援助

〈敬称略〉

合計 3件 5,800千円

| 申込み機関 (大学、高等専門学校等) | 事業の名称 | 援助金額 (千円) |
|-----------------------|--|--------------|
| 国際高等専門学校 | 能登の里山に通信の恩恵を | 2,000 |
| 室蘭工業大学 | 地域 交通・観光 活性化を目的とした交通観光 一体型アプリケーションの実装 | 1,800 |
| 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 | ポストコロナ時代におけるオープンデータ高度利活用促進人材プラットフォーム構築事業 | 2,000 |

3. 表彰事業

電気通信普及財団賞（第36回）

（概要）

電気通信普及財団賞（第36回）については、史上最多の180件の応募が選考対象となり、表彰専門部会による審査を経て、全体で25件が受賞となった。

電気通信普及財団賞（第36回）の贈呈式が2021年3月26日に、帝国ホテルにおいて、ハイブリッド方式で実施された。

第36回 電気通信普及財団賞 受賞著作・論文

〈順不同、敬称略〉

※所属・役職は受賞時のもの。執筆時・投稿時の所属・役職を（ ）内に示す。

(1) テレコム社会科学賞

（概要）

テレコム社会科学賞には、40件の応募があり、表彰専門部会による審査を経て、入賞（本賞）1件、奨励賞4件が受賞となった。

[入賞]

「モバイルメディア時代の働き方」

（書籍発刊：勁草書房，2019年7月）

松下 慶太 関西大学 社会学部 教授（実践女子大学人間社会学部 准教授）

[奨励賞]

「起業プロセスと不確実性のマネジメント

—首都圏とシリコンバレーのWebビジネスの成長要因—」

（書籍発刊：白桃書房，2020年3月）

田路 則子 法政大学 経営学部／大学院経営学研究科 教授

「情報革命の世界史と図書館 粘土板文書庫から「見えざる図書館」の出現へ」

（書籍発刊：樹村房，2019年7月）

山口 広文 立正大学 文学部 特任教授

「情報自己決定権と制約法理」

（書籍発刊：信山社，2019年12月）

實原 隆志 福岡大学 法学部 教授

「〈情弱〉の社会学—ポスト・ビッグデータ時代の生の技法—」

(書籍発刊：青土社, 2019年9月)

柴田 邦臣 津田塾大学 学芸学部 准教授／インクルーシブ教育支援室 ディレクター

(2) テレコムシステム技術賞

(概要)

テレコムシステム技術賞には、81件の応募・推薦があり、表彰専門部会による審査を経て、入賞（本賞）4件、奨励賞2件が受賞となった。

[入賞]

「Nonlinear Dynamics of Information Diffusion in Social Networks」

(ACM, ACM Transactions on the Web, 2017年4月)

| | |
|--------------------|---|
| 松原 靖子 | 大阪大学 産業科学研究所 准教授 (熊本大学 大学院先端科学研究部 助教) |
| 櫻井 保志 | 大阪大学 産業科学研究所 教授 (熊本大学 大学院先端科学研究部 教授) |
| B. Aditya Prakash | ジョージア工科大学 准教授 (バージニア工科大学 助教) |
| Lei Li | ByteDance AI Lab Director (Toutiao Lab 研究員) |
| Christos Faloutsos | カーネギーメロン大学 教授 |

「10.16-Peta-B/s Dense SDM/WDM Transmission Over 6-Mode 19-Core Fiber Across the C+L Band」

(IEEE/OSA, Journal of Lightwave Technology, 2018年3月)

| | |
|-------|---|
| 相馬 大樹 | 株式会社 KDDI 総合研究所 光トランスポートネットワークグループ 研究主査 (研究員) |
| 若山 雄太 | 株式会社 KDDI 総合研究所 光トランスポートネットワークグループ 研究主査 |
| 別府 翔平 | 株式会社 KDDI 総合研究所 光トランスポートネットワークグループ 研究員 |
| 角田 聖也 | 株式会社 KDDI 総合研究所 光トランスポートネットワークグループ 研究員 |
| 釣谷 剛宏 | 株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員 (光トランスポートネットワークグループリーダー) |
| 林 哲也 | 住友電気工業株式会社 光通信研究所 グループ長 (主査) |
| 永島 拓志 | 住友電気工業株式会社 光通信研究所 主席 (住友電気工業株式会社 光通信研究所) |
| 鈴木 雅人 | 北海道大学 大学院工学研究院 特任助教 (住友電気工業株式会社 光通信研究所) |
| 吉田 真人 | 東北大学 電気通信研究所 准教授 |
| 葛西 恵介 | 東北大学 電気通信研究所 准教授 (助教) |
| 中沢 正隆 | 東北大学 電気通信研究機構 特任教授 (電気通信研究所 教授) |
| 高橋 英憲 | 株式会社 KDDI 総合研究所 光トランスポートネットワークグループ 研究マネージャ |
| 五十嵐浩司 | 大阪大学 大学院工学研究科 准教授 |
| 森田 逸郎 | 株式会社 KDDI 総合研究所 主席研究員 (執行役員) |
| 鈴木 正敏 | 株式会社 KDDI 総合研究所 主席研究員 |

「Super-Resolution Doppler Velocity Estimation by Kernel-Based Range- τ Point Conversions for UWB Short-Range Radars」

(IEEE, IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing, 2020年4月)

薛 雅文 アンリツ株式会社 (電気通信大学 大学院情報理工学研究科 博士前期課程2年)
林 拓海 日本放送協会 (電気通信大学 大学院情報理工学研究科 博士前期課程1年)
何 姜浩森 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 (研究生)
木寺 正平 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 准教授

(注) UWB: Ultra Wide Band、TWI: Through-wall imaging、RPM: Range-point migration

「Joint Processing of Analog Fixed Beamforming and CSI-Based Precoding for Super High Bit Rate Massive MIMO Transmission Using Higher Frequency Bands」

(電子情報通信学会, IEICE Trans. Communications, 2015年8月)

小原 辰徳 株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部 無線アクセス開発部
(先進技術研究所 5G推進室)
須山 聡 株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部 ネットワークイノベーション研究
所 担当課長 (先進技術研究所 5G推進室 主任研究員)
沈 紀暉 株式会社NTTドコモ 情報システム部 主査
(R&Dイノベーション本部 先進技術研究所 5G推進室 研究主任)
奥村 幸彦 ドコモ・テクノロジー株式会社 携帯事業部 通信制御技術部 部長
(株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部 先進技術研究所 5G推進室 主
幹研究員)

(注) MIMO: Multiple Input Multiple Output

[奨励賞]

「Heart Rate Variability-Based Driver Drowsiness Detection and Its Validation With EEG」

(Engineering in Medicine and Biology Society, IEEE Transactions on Biomedical Engineering, 2019年6月)

藤原 幸一 名古屋大学 大学院工学研究科 准教授 (京都大学 大学院情報学研究科 助教)
阿部 恵里花 任天堂株式会社
鎌田 啓輔 DataRobot Japan (京都大学 大学院情報学研究科 修士課程2回生)
仲山 千佳夫 京都大学 大学院情報学研究科 博士後期課程4回生 (修士課程2回生)
鈴木 陽子 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 研究員
(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 博士後期課程4年生)
山川 俊貴 熊本大学 大学院先端科学研究部 准教授 (大学院先導機構 助教)
平岡 敏洋 東京大学 生産技術研究所 特任教授
(名古屋大学 未来社会創造機構 特任准教授)
加納 学 京都大学 大学院情報学研究科 教授
角 幸頼 滋賀医科大学 精神科 助教 (医員)
増田 史 医療法人杏嶺会 上林記念病院 (滋賀医科大学 精神科 医員)
松尾 雅博 滋賀医科大学 精神科 (講師)
角谷 寛 滋賀医科大学 睡眠行動医学講座 特任教授

「A wireless body area sensor network based on stretchable passive tags」

(Nature Publishing Group, Nature Electronics, 2019年8月)

| | |
|-------------------|--|
| Niu Simiao | Apple Engineer (Chemical Engineering, Stanford University Postdoctoral scholar) |
| 松久 直司 | 慶應義塾大学 理工学部 電気情報工学科 専任講師 (Chemical Engineering, Stanford University Postdoctoral scholar) |
| Beker Levent | Mechanical Engineering, Koc University Assistant Professor (Chemical Engineering, Stanford University Postdoctoral scholar) |
| Li Jinxing | Biomedical Engineering, Michigan State University Assistant Professor (Chemical Engineering, Stanford University Postdoctoral scholar) |
| Wang Sihong | Pritzker school of molecular engineering, The University of Chicago Assistant Professor (Chemical Engineering, Stanford University Postdoctoral scholar) |
| Wang Jiechen | Chemical Engineering, Stanford University PhD. candidate |
| Jiang Yuanwen | Chemical Engineering, Stanford University Postdoctoral scholar |
| Yan Xuzhou | Chemical Engineering, Shanghai Jiao Tong University Professor (Chemical Engineering, Stanford University Postdoctoral scholar) |
| Yun Youngjun | SAIT, SAMSUNG ELECTRONICS Principal Researcher |
| Burnett William | Mechanical Engineering, Stanford University Adjunct Professor |
| Poon Ada S.Y. | Electrical Engineering, Stanford University Associate Professor |
| Tok Jeffery B.-H. | Chemical Engineering, Stanford University Laboratory director |
| Chen Xiaodong | School of Materials Science and Engineering, Nanyang Technological University Professor |
| Bao Zhenan | Chemical Engineering, Stanford University K. K. Lee Professor |

(3) テレコム社会科学学生賞

(概要)

テレコム社会科学学生賞には、19件の応募があり、その中から、入賞1件、佳作2件が受賞となった。

[入賞]

「コンピュータによる感情評定は注意資源を分配されにくい —感情喚起画像に対する評価プロセスに着目した脳科学的検討」

(未発表：修士学位論文)

池田 利基 筑波大学 大学院人間総合科学研究科 感性認知脳科学専攻
博士後期課程3年 (博士前期課程2年)

[佳作]

**「津波避難訓練支援アプリ「逃げトレ」の開発と社会実装
—コミットメントとコンティンジェンシーの相乗作用—**

(論文発表：実験社会心理学研究, 2019年3月)

杉山 高志 京都大学・防災研究所 特定研究員 (大学院情報学研究科 博士後期課程3年)

「ICTプロフェッショナリズムの現代的課題」

(論文発表：日本情報経営学会誌39巻4号, 2020年2月)

山崎 竜弥 富山大学 経済学部 経営学科 専任講師／
明治大学 大学院商学研究科 博士後期課程3年
(明治大学 大学院商学研究科 博士後期課程3年)

(4) テレコムシステム技術学生賞

(概要)

テレコムシステム技術学生賞には、40件の応募があり、その中から、入賞7件、佳作4件が受賞となった。

[入賞]

「Resource and Network Management Framework for a Large-Scale Satellite Communications System」

(電子情報通信学会, IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, 2020年2月)

阿部 侑真 国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター
宇宙通信研究室 研究員
(慶應義塾大学 大学院理工学研究科 基礎理工学専攻 後期博士課程2年／国立研究
開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 宇宙
通信研究室 研究員)

共著者 小蔵 正輝、辻 宏之、三浦 周、足立 修一

「Dual-Ascent Inspired Transmit Precoding for Evolving Multiple-Access Spatial Modulation」

(IEEE, IEEE Transactions on Communications, 2020年7月)

曹 誉文 慶應義塾大学 理工学研究科 開放環境科学専攻 博士後期課程2年
(博士後期課程1年)

共著者 大槻 知明、Tony Q. S. Quek

「Robust Integrated Optical Unitary Converter Using Multiport Directional Couplers」

(OSA/IEEE, Journal of Lightwave Technology, 2020年1月)

田之村 亮汰 東京大学 工学系研究科 電気系工学専攻 博士後期課程1年
(修士課程2年)

共著者 唐 睿、Samir Ghosh、種村 拓夫、中野 義昭

「Handover Management for mmWave Networks With Proactive Performance Prediction Using Camera Images and Deep Reinforcement Learning」

(IEEE, IEEE Transactions on Cognitive Communications and Networking, 2020年6月)

香田 優介 京都大学 大学院情報学研究科 博士後期課程3回生 (2回生)

共著者 中島 功太、山本 高至、西尾 理志、守倉 正博

「Scene Segmentation-Based Luminance Adjustment for Multi-Exposure Image Fusion」

(IEEE, IEEE Transactions on Image Processing, 2019年8月)

木下 裕磨 東京都立大学 システムデザイン学部 情報科学科 特任助教
(首都大学東京大学院 システムデザイン研究科 情報科学域 博士後期課程2年)

共著者 貴家 仁志

「Unsupervised Learning of Image Segmentation Based on Differentiable Feature Clustering」

(IEEE, IEEE Transactions on Image Processing, 2020年7月)

Kim Wonjik 東京工業大学 工学院システム制御系 博士後期課程1年

共著者 金崎 朝子、田中 正行

[佳作]

「Multiple Radios for Fast Rendezvous in Heterogeneous Cognitive Radio Networks」

(IEEE, IEEE ACCESS, 2019年4月)

李 傲寒 東京理科大学 工学部 電気工学科 助教
(慶應義塾大学 理工学研究科 博士後期課程1年)

共著者 Han Guangjie、大槻 知明

「Multiwavelength-multiplexed phase-shifting incoherent color digital holography」

(OSA Publishing, Optics Express, 2020年3月)

原 貴之 千葉大学 大学院融合理工学府 基幹工学専攻電気電子工学コース
修士課程1年 (工学部 電気電子工学科 学部4年)

共著者 田原 樹、市橋 保之、大井 隆太郎、伊藤 智義

「Near-Optimal Detection for Binary Tardos Code by Estimating Collusion Strategy」

(IEEE, IEEE Transactions on Information Forensics and Security, 2020年2月)

安井 達哉 岡山大学 大学院自然科学研究科 博士後期課程1年 (博士前期課程1年)

共著者 栗林 稔、船曳 信生、越前 功

「Passage of Faulty Nodes: A Novel Approach for Fault-Tolerant Routing on NoCs」

(電子情報通信学会, IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences, 2019年12月)

黒川 陽太 山口大学 大学院創成科学研究科 博士後期課程3年 (博士後期課程2年)

共著者 福士 将

公益財団法人 電気通信普及財団
第36回 電気通信普及財団賞 及び 2020年度 助成・援助金贈呈式

2021年3月26日（金） 開会 10時30分 帝国ホテル「桜の間」(本館4階)にてハイブリッド開催

贈呈式 次第

- 1 理事長挨拶 理事長 武内 信博

- 2 第36回電気通信普及財団賞関係
 - (1) 選考経過報告
 - ・テレコム社会科学部門 鈴木 秀美 表彰専門部会座長
 - ・テレコムシステム技術部門 高畑 文雄 表彰専門部会座長
 - (2) 表彰状贈呈
 - ・テレコム社会科学賞
 - ・テレコム社会科学学生賞
 - ・テレコムシステム技術賞
 - ・テレコムシステム技術学生賞

- 3 2020年度 助成援助関係
 - (1) 審査概況報告 廣松 毅 審査委員長
 - (2) 助成・援助対象者披露

- 4 財団賞受賞者による講演
 - テレコム社会科学賞 関西大学教授 松下 慶太氏
 - テレコムシステム技術賞 大阪大学 准教授 松原 靖子 氏

閉会

贈呈式の模様

第36回電気通信普及財団賞贈呈式 2020年度助成援助金贈呈式



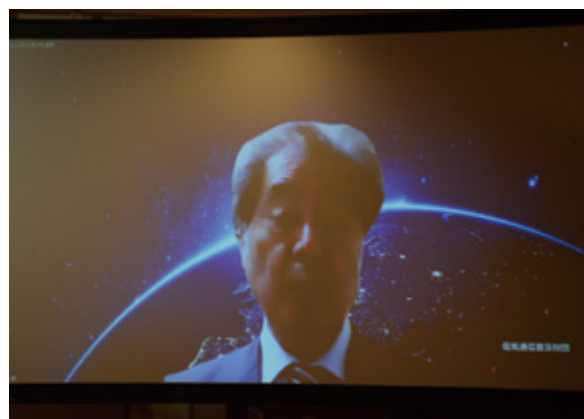
電気通信普及財団 武内 信博 理事長 挨拶



鈴木 秀美 表彰専門部会座長
(テレコム社会科学部門) 選考経過報告(リモート)



高畑 文雄 表彰専門部会座長
(テレコム社会科学部門) 選考経過報告(リモート)



廣松 毅 審査委員会委員長
助成援助審査概況報告(リモート)



会場の様子



会場の様子



テレコム社会科学賞 奨励賞
田路 則子 氏



テレコムシステム技術賞
相馬 大樹 氏



テレコムシステム技術賞
薛 雅文 氏



テレコム社会科学学生賞
池田 利基 氏



テレコムシステム技術学生賞
阿部 侑真 氏



テレコムシステム技術学生賞 佳作
李 傲寒 氏



テレコム社会科学賞受賞者による講演
 関西大学教授 松下 慶太 氏



テレコムシステム技術賞受賞者による講演
 大阪大学准教授 松原 靖子 氏



講演時の様子



講演時の様子



テレコム社会科学賞・テレコム社会科学学生賞受賞者 集合写真



テレコムシステム技術賞受賞者 集合写真



テレコムシステム技術学生賞受賞者 集合写真

4. これまでの活動実績

| 区分 | 西暦 | 研究調査助成 | | シンポジウム開催等への援助 | | 特別講義開設援助 | | 長期海外研究援助 | | 海外渡航旅費援助 | |
|--------|------|--------|-----------|---------------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|
| | | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 昭和59年度 | 1984 | 29 | 66,600 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 昭和60年度 | 1985 | 59 | 121,740 | 11 | 40,500 | 3 | 8,700 | — | — | 23 | 9,550 |
| 昭和61年度 | 1986 | 77 | 143,761 | 18 | 56,268 | 6 | 21,370 | — | — | 32 | 12,050 |
| 昭和62年度 | 1987 | 79 | 107,600 | 24 | 49,900 | 8 | 29,690 | — | — | 30 | 12,400 |
| 昭和63年度 | 1988 | 68 | 95,428 | 9 | 22,500 | 13 | 43,020 | 2 | 7,632 | 44 | 16,135 |
| 平成元年度 | 1989 | 63 | 103,002 | 15 | 33,300 | 16 | 51,870 | 2 | 8,147 | 37 | 13,338 |
| 平成2年度 | 1990 | 69 | 101,929 | 14 | 31,700 | 17 | 49,482 | 4 | 13,718 | 75 | 28,340 |
| 平成3年度 | 1991 | 85 | 129,924 | 15 | 32,800 | 17 | 43,210 | 2 | 9,563 | 58 | 20,090 |
| 平成4年度 | 1992 | 96 | 140,500 | 23 | 41,404 | 13 | 36,740 | 4 | 14,358 | 138 | 45,540 |
| 平成5年度 | 1993 | 79 | 106,050 | 17 | 21,100 | 14 | 29,231 | 6 | 19,499 | 112 | 36,545 |
| 平成6年度 | 1994 | 105 | 120,500 | 26 | 33,300 | 13 | 26,920 | 6 | 24,211 | 191 | 63,493 |
| 平成7年度 | 1995 | 101 | 99,550 | 32 | 27,300 | 15 | 27,330 | 7 | 23,110 | 142 | 42,765 |
| 平成8年度 | 1996 | 109 | 102,810 | 26 | 20,600 | 13 | 28,720 | 7 | 22,280 | 173 | 46,240 |
| 平成9年度 | 1997 | 109 | 119,330 | 33 | 30,050 | 12 | 23,920 | 7 | 25,530 | 179 | 44,360 |
| 平成10年度 | 1998 | 102 | 111,440 | 35 | 32,575 | 14 | 27,120 | 6 | 20,440 | 194 | 48,840 |
| 平成11年度 | 1999 | 101 | 114,250 | 19 | 22,090 | 13 | 23,190 | 7 | 23,938 | 142 | 33,520 |
| 平成12年度 | 2000 | 92 | 107,589 | 19 | 18,680 | 15 | 23,935 | 6 | 20,310 | 189 | 43,680 |
| 平成13年度 | 2001 | 75 | 87,988 | 16 | 15,585 | 14 | 21,603 | 4 | 15,456 | 161 | 35,600 |
| 平成14年度 | 2002 | 68 | 74,150 | 21 | 14,600 | 14 | 20,562 | 3 | 11,592 | 110 | 23,370 |
| 平成15年度 | 2003 | 70 | 75,350 | 17 | 15,700 | 12 | 17,084 | 2 | 6,960 | 104 | 23,690 |
| 平成16年度 | 2004 | 69 | 75,380 | 15 | 12,488 | 6 | 8,251 | 3 | 8,960 | 102 | 24,040 |
| 平成17年度 | 2005 | 68 | 73,026 | 11 | 10,706 | 6 | 9,826 | 3 | 9,420 | 77 | 17,790 |
| 平成18年度 | 2006 | 67 | 72,594 | 9 | 6,700 | 5 | 7,883 | 3 | 10,350 | 77 | 16,680 |
| 平成19年度 | 2007 | 70 | 74,460 | 16 | 13,100 | 8 | 10,480 | 4 | 10,750 | 68 | 15,500 |
| 平成20年度 | 2008 | 76 | 68,147 | 8 | 7,539 | 6 | 6,642 | 3 | 10,771 | 77 | 17,060 |
| 平成21年度 | 2009 | 82 | 70,471 | 14 | 15,000 | 8 | 8,327 | 3 | 8,502 | 54 | 12,420 |
| 平成22年度 | 2010 | 83 | 74,852 | 9 | 10,000 | 6 | 7,296 | 1 | 2,634 | 45 | 10,410 |
| 平成23年度 | 2011 | 83 | 74,919 | 16 | 14,900 | 5 | 5,653 | 3 | 7,627 | 48 | 10,820 |
| 平成24年度 | 2012 | 78 | 67,928 | 14 | 13,900 | 1 | 1,626 | 2 | 5,918 | 54 | 12,910 |
| 平成25年度 | 2013 | 87 | 78,676 | 11 | 11,650 | 2 | 1,475 | 4 | 10,858 | 59 | 14,530 |
| 平成26年度 | 2014 | 85 | 77,390 | 12 | 13,600 | 2 | 1,284 | 1 | 2,456 | 58 | 14,455 |
| 平成27年度 | 2015 | 102 | 93,074 | 18 | 19,100 | 3 | 2,180 | 4 | 15,070 | 54 | 12,490 |
| 平成28年度 | 2016 | 148 | 142,496 | 13 | 14,200 | 6 | 4,609 | 1 | 3,258 | 48 | 11,316 |
| 平成29年度 | 2017 | 146 | 161,791 | 26 | 27,603 | 5 | 4,188 | 3 | 4,641 | 51 | 12,080 |
| 平成30年度 | 2018 | 117 | 163,838 | 18 | 17,460 | 14 | 11,588 | 4 | 10,918 | 35 | 8,341 |
| 令和元年度 | 2019 | 108 | 145,373 | 23 | 18,360 | 4 | 2,560 | 5 | 5,963 | 55 | 12,812 |
| 令和2年度 | 2020 | 82 | 129,830 | 14 | 12,700 | 4 | 2,870 | 0 | 0 | 8 | 995 |
| 累計 | | 3,187 | 3,773,736 | 637 | 798,958 | 333 | 650,435 | 122 | 394,840 | 3,104 | 824,195 |

注 この他過去に福祉機器の寄贈、図書・文献の寄贈、ボランティア援助、電気通信政策研究援助等の助成・援助実績がある。(1,513件：22.3億円)

金額単位：(千円)

| 国際交流人材育成援助 | | ネット社会課題対応援助 | | 学術研究出版助成 | | 表 彰 | | 助成・援助・表彰合計 | |
|------------|--------|-------------|--------|----------|-------|-----|---------|------------|-----------|
| 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | 29 | 66,600 |
| - | - | - | - | - | - | 10 | 4,400 | 106 | 184,890 |
| - | - | - | - | - | - | 10 | 4,600 | 143 | 238,049 |
| - | - | - | - | - | - | 11 | 5,100 | 152 | 204,690 |
| - | - | - | - | - | - | 11 | 4,700 | 147 | 189,415 |
| - | - | - | - | - | - | 12 | 5,200 | 145 | 214,857 |
| - | - | - | - | - | - | 11 | 5,100 | 190 | 230,269 |
| - | - | - | - | - | - | 31 | 8,500 | 208 | 244,087 |
| - | - | - | - | - | - | 22 | 7,100 | 296 | 285,642 |
| - | - | - | - | - | - | 37 | 9,300 | 265 | 221,725 |
| - | - | - | - | - | - | 33 | 8,700 | 374 | 277,124 |
| - | - | - | - | - | - | 32 | 9,000 | 329 | 229,055 |
| - | - | - | - | - | - | 28 | 7,800 | 356 | 228,450 |
| - | - | - | - | - | - | 30 | 7,600 | 370 | 250,790 |
| - | - | - | - | - | - | 35 | 8,800 | 386 | 249,215 |
| - | - | - | - | - | - | 30 | 7,800 | 312 | 224,788 |
| - | - | - | - | - | - | 31 | 8,500 | 352 | 222,694 |
| - | - | - | - | - | - | 35 | 8,700 | 305 | 184,932 |
| - | - | - | - | - | - | 24 | 6,600 | 240 | 150,874 |
| - | - | - | - | - | - | 28 | 7,700 | 233 | 146,484 |
| - | - | - | - | - | - | 26 | 6,600 | 221 | 135,719 |
| - | - | - | - | - | - | 26 | 6,600 | 191 | 127,368 |
| - | - | - | - | - | - | 23 | 6,700 | 184 | 120,907 |
| - | - | - | - | - | - | 23 | 7,400 | 189 | 131,690 |
| - | - | - | - | - | - | 25 | 6,500 | 195 | 116,659 |
| - | - | - | - | - | - | 17 | 5,000 | 178 | 119,720 |
| - | - | - | - | - | - | 18 | 5,500 | 162 | 110,692 |
| - | - | - | - | - | - | 17 | 4,900 | 172 | 118,819 |
| - | - | - | - | - | - | 16 | 4,700 | 165 | 106,982 |
| - | - | - | - | - | - | 12 | 3,500 | 175 | 120,689 |
| 2 | 3,200 | - | - | - | - | 17 | 5,100 | 177 | 117,485 |
| 3 | 5,915 | - | - | - | - | 18 | 6,100 | 202 | 153,929 |
| 4 | 7,940 | - | - | - | - | 17 | 5,000 | 237 | 188,819 |
| 2 | 3,890 | 2 | 4,000 | - | - | 20 | 5,800 | 255 | 223,993 |
| 1 | 2,000 | 2 | 4,000 | - | - | 22 | 6,000 | 213 | 224,145 |
| 1 | 1,000 | 2 | 4,000 | - | - | 17 | 5,300 | 215 | 195,368 |
| 1 | 1,000 | 3 | 5,800 | 4 | 7,500 | 25 | 13,800 | 141 | 174,495 |
| 14 | 24,945 | 9 | 17,800 | 4 | 7,500 | 800 | 239,700 | 8,210 | 6,732,109 |

5. 決算報告

1. 貸借対照表 (3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目 | 2020年度 | 2019年度 | 2018年度 |
|-------------------|------------|-------------|-------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金・預金 | 367,550 | 375,751 | 376,762 |
| 未収金 | 12,675 | 16,916 | 15,885 |
| その他 | 1,069 | 1,069 | 1,050 |
| 流動資産合計 | 381,294 | 393,736 | 393,696 |
| 2. 固定資産 | | | |
| 基本財産 | 11,566,867 | 10,611,466 | 11,034,821 |
| 特定資産 | 527,519 | 504,492 | 551,539 |
| その他固定資産 | 10,730 | 13,220 | 15,709 |
| 固定資産合計 | 12,105,116 | 11,129,178 | 11,602,069 |
| 資産合計 | 12,486,411 | 11,522,914 | 11,995,765 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債合計 | 147,331 | 163,012 | 180,151 |
| 2. 固定負債合計 | 23,989 | 26,900 | 46,718 |
| 負債合計 | 171,320 | 189,912 | 226,869 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | 8,410,486 | 7,803,289 | 8,096,635 |
| (うち基本財産への充当額) | 8,209,791 | (7,651,532) | (7,944,878) |
| (うち特定資産への充当額) | 200,694 | (151,757) | (151,757) |
| 2. 一般正味財産 | 3,904,605 | 3,529,713 | 3,672,262 |
| (うち基本財産への充当額) | 3,357,076 | (2,959,933) | (3,089,943) |
| (うち特定資産への充当額) | 302,836 | (325,836) | (353,064) |
| 正味財産合計 | 12,315,091 | 11,333,002 | 11,768,896 |
| 負債及び正味財産合計 | 12,486,411 | 11,522,914 | 11,995,765 |

2. 正味財産増減計算書（4月1日～翌年3月31日）

（単位：千円）

| 科 目 | 2020年度 | 2019年度 | 2018年度 |
|----------------------|------------|------------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | 266,779 | 330,913 | 355,021 |
| (2) 経常費用 | 342,968 | 358,142 | 378,555 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | ▲ 76,189 | ▲ 27,228 | ▲ 23,534 |
| 基本財産評価損益等 | 451,081 | ▲ 115,320 | 175,330 |
| 当期経常増減額 | 374,893 | ▲ 142,549 | 151,796 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 374,893 | ▲ 142,549 | 151,796 |
| 一般正味財産期首残高 | 3,529,713 | 3,672,262 | 3,520,466 |
| 一般正味財産期末残高 | 3,904,605 | 3,529,713 | 3,672,262 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 607,197 | ▲ 293,346 | 350,317 |
| 指定正味財産期首残高 | 7,803,289 | 8,096,635 | 7,746,318 |
| 指定正味財産期末残高 | 8,410,486 | 7,803,289 | 8,096,635 |
| III 正味財産期末残高 | 12,315,091 | 11,333,002 | 11,768,896 |

6. 2020年度 役員、評議員及び審査委員名簿

理事・監事・評議員・審査委員

〈2020年7月現在〉

理事・理事長（常勤）

武内 信博

理事・専務理事（常勤）

守屋 学

理事（非常勤）

| | |
|-------|---|
| 黒田 勝己 | 日本電信電話株式会社 経営企画部門 経営企画担当 担当部長 |
| 酒井 善則 | 一般財団法人日本データ通信協会 理事長 東京工業大学 名誉教授 |
| 根本 勝則 | 一般社団法人日本経済団体連合会 専務理事 |
| 舟田 正之 | 立教大学法学部 名誉教授 |
| 吉岡 圭一 | 株式会社みずほ銀行 情報通信・リテール第二部 次長 |
| 若杉 敬明 | 一般社団法人日本コーポレートガバナンス研究所 理事長 東京大学 名誉教授 |

監事（非常勤）

井坂 武彦

評議員

| | |
|-------|----------------------------|
| 石井 義則 | 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 常務理事 |
| 坂下 欣吾 | 株式会社みずほ銀行 情報通信・リテール第二部長 |
| 下村 知叙 | 通信電線線材協会 専務理事 |
| 谷山 賢 | 日本電信電話株式会社 執行役員 経営企画部門長 |

審査委員会委員

[委員長]

廣松 毅 独立行政法人日本学術振興会
人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター センター長
情報セキュリティ大学院大学 客員教授

[委員]

依田 高典 京都大学 大学院経済学研究科 研究科長・教授

高畑 文雄 早稲田大学 名誉教授

多賀谷 一照 千葉大学 名誉教授

中村 雅子 東京都市大学 メディア情報学部 教授

広瀬 啓吉 東京大学 名誉教授 / 国立情報学研究所 客員教授

山中 直明 慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 教授
慶應義塾先端科学技術研究センター (KLL) 所長

表彰専門部会委員

浅見 徹 株式会社国際電気通信基礎技術研究所 代表取締役社長

井手 秀樹 慶應義塾大学 名誉教授

植松 友彦 東京工業大学 工学院院长 工学院 情報通信系 教授

鈴木 秀美 慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 副所長 教授
大阪大学 名誉教授

高畑 文雄 早稲田大学 名誉教授

多賀谷 一照 千葉大学 名誉教授

廣松 毅 独立行政法人日本学術振興会
人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター センター長
情報セキュリティ大学院大学 客員教授

山中 直明 慶應義塾大学 理工学部 情報工学科 教授
慶應義塾先端科学技術研究センター (KLL) 所長

電気通信普及財団レポート2021

発 行 者 公益財団法人電気通信普及財団
〒105-0003
東京都港区西新橋二丁目4番2号 西新橋安田ユニオンビル2階
TEL 03-3580-3414 FAX 03-3580-3488

発 行 日 2021年7月
URL <https://www.taf.or.jp/>
E-mail jigyoubu@taf.or.jp



公益財団法人 電気通信普及財団

〒105-0003 東京都港区西新橋二丁目4番2号 西新橋安田ユニオンビル2階

TEL 03-3580-3414 FAX 03-3580-3488

<https://www.taf.or.jp/>